令和８年度（2026 年度）

第 一 回　吹 田 市 立 博 物 館 協 議 会

議　　事　　録　　（要旨）

日　　時　　令和８年（2026 年）５月 27 日（水）午前 10 時 00 分～正午

場　　所　　吹田市立博物館　２階　講座室

出席委員　　飯塚　一幸、岩崎　健一、大江　健規、澤井　浩一、澤井　徹、中久保　辰夫、
信田　敏宏、橋爪　節也、樋口　五葉、八代　健志（敬称略、50 音順）

事務局出席者　　中牧　弘允（特別館長）、關　尚子（文化財保護課長）、高橋　真希（博物館長・主幹）、
河島　明子（博物館副館長・主査）、竹原　千佳誉（主査）、藤田　裕介（主任）、
池田　直子（主任）、笠井　一司（係員）

【１　開　会】　高橋館長（出席状況の確認）

【２　挨　拶】　中牧特別館長挨拶

【３　新任委員の紹介】・新委員紹介
・各委員紹介

【４　異動職員の紹介】　（資料ｐ２　博物館組織図・職員配置図参照）

【５　案件（１）　議長・副議長の選出】　議長：橋爪委員　　副議長：澤井　浩一委員

【６　傍聴報告】　傍聴者なし

【７　案件（２）事業報告（令和７年度）について】
＊博物館利用者数について、事務局から説明
ｐ６ 利用者総数、ｐ７ 月別利用者総数

（議　長）国から展示活動の達成目標が求められているが、博物館（自治体）への影響はあるのか。
（館　長）ｐ７ の有料観覧者合計金額 783,170 円で、市の予算からの支出は必要である。
（委　員）大阪市の博物館等では、展示活動で増収する必要がある。
（委　員）博物館法と照らし合わせて考える必要がある。地域の博物館が果たす役割を堅持していただきたい。有料観覧者数で高校生・大学生が倍増しているのはなぜか。
（館　長）高校生・大学生に向けての対策を特にしてはいないので、はっきりした要因は分からない。
（委　員）教育と関連させ、高校生や大学生の働き掛けも検討いただきたい。

【8　案件（2）事業報告（令和７年度）資料１－１　重点項目１について】

＊事務局から説明

（委　員）博物館のリニューアルに向けて、どの程度進展しているのか。

（館　長）大規模改修を令和８年度から 12 年度の間に行う計画となっている。これに合わせてリニューアルに向け庁内で調整している段階である。

（委　員）第４次中期計画の中では進んでいると理解できる。物価や人件費の高騰などを含めて国際情勢を踏まえた予算検討などが必要と考える。

（館　長）展示ケースの再利用など、予算コストを抑える方法も検討していく必要がある。具体的な積算は今後行っていく。

（委　員）「ゆったりスペース」について、親しみやすいスペースになるようにしてほしい。

（館　長）ビデオ視聴コーナーの撤去など、ロビーの改修を検討している。

（議　長）別紙２で、既存のケースと新設のケースはつながるのか。

（事務局）設計はこれからであるが、大型資料が置けるよう検討している。

（委　員）アンケート調査の結果から、子供が体験できる方向での検討はよいと思うが、市民に親しまれ、多くの方が来やすくなるような博物館のネーミングを公募するなどして、考えられないか。

（館　長）今後、親しみやすい名称について方向性を検討していく。

（委　員）今回のリニューアルは、建物全体を対象としているのか。

（館　長）大規模改修、トイレ改修、ユニバーサルデザインなどと同時にリニューアルを考えている。設備工事と展示室リニューアルをどう進めていくか検討している。

（委　員）展示室など施設面の改修の方が、市民にとっては変化が見られると考える。

【9　案件（2）事業報告（令和７年度）資料１－１　重点項目２について】

＊事務局から説明

資料１－１（２）資料所在確認調査、資料１－２　別紙３－１，３－２　について

（議　長）市史はいつできたのか。

（事務局）昭和 48 年（1973 年）に近世の資料を最初に発刊し、最新は平成２年（1990 年）である。

（議　長）市史編さんの計画はあるのか。

（事務局）現段階ではない。

（委　員）所在調査の中途での寄贈・寄託への対応は、考えているのか。

（事務局）緊急性に応じて対応していく。収蔵環境を見ながら進めていく。

（課　長）収蔵庫については、発掘資料の取扱いについて重要度をチェックしながら、収蔵スペースの調整を進めている。

【10　案件（2）事業報告（令和７年度）資料１－１　重点項目３について】

＊事務局から説明

資料１－１（３）市民が集う博物館づくり、資料１－２（３）について

（議　長）学芸研究会とは具体的に何を行っているのか。

（事務局）個々の学芸員がそれぞれの研究内容について報告している。

（委　員）成果物として、どのようなものがあるのか。
（事務局）研究内容を共有し、方向性を検討している段階である。
（議　長）今後の具体化に向けて、何年度には研究チームを作成するなどの計画が必要なのではないか。
（委　員）市ＰＴＡ協議会でも行っているが、視察を行う必要はあるのではないか。
（事務局）全国博物館大会や他館のサミットなどに参加し、研究を進めている。

資料１－２　２．その他（基本的な活動）、資料１－３　博物館の基本的な活動（実績）について事務局から説明
（議　長）（７）の読売テレビの放送は、どのような内容だったのか。
（館　長）千里ニュータウンのシステムキッチンの始まりを再現ドラマにしたもので、当館のキッチン復元展示がロケで使われ、数秒間放送されていた。

【11　案件（３）事業計画（令和８年度）、第４次中期計画について】
＊事務局から説明
（議　長）展示物は館蔵品や借用など、どのようになっているか。
（館　長）展示内容にもよるが、夏季展示や秋の特別展示で一部借用品があった。他は全て館蔵品である。
（議　長）常設展では、物づくり（土器や瓦）吹田をアピールできるのではないか。大工道具なども体験できるものがあるのか。
（館　長）できるだけ体験を取り入れいきたい。
（委　員）秋季特別展の須恵器展について、愛知県や豊中市で須恵器の展示をしていた。市民向けの講演会を行っていた。研究発表的な内容になっていたので、このような取組を情報共有しながら企画を進めていただければと思う。
（事務局）豊中市のシンポジウムには参加した。吹田市での須恵器生産を専門的研究内容も含め、市民に幅広く周知していきたい。
（委　員）予算面について、春季特別展より秋季特別展に重点が置かれているのか。
（館　長）予算については、春季・秋季ともほぼ同額である。

【12　案件（４）課題討論（令和７年度事業点検・評価について）】
＊事務局から説明
資料３－１吹田市立博物館事業評価について
（事務局）事業評価シートのデータを後日送信するので、６月 30 日を目途に返信いただきたい。

【13　案件（５）吹田市立博物館資料収集方針（素案）について】
＊事務局から説明
（委　員）間口を広げず吹田市に関わるものになっている。大阪地域に関連するものなど、もう少し理念の幅を広げてはどうか。
（議　長）美術工芸品分野でも、もう少し幅を広げてはどうか。
（委　員）限定しないと収蔵スペースに課題があるのか。
（館　長）スペースの問題もあるので、これからの博物館の資料の収集方針を基本的に決めておきた

いと考えている。

（議　長）資料収集の検討委員会なども検討してみてはどうか。

（館　長）今後、検討していきたい。

【14　閉　会】